令和３年度新たな資源管理システム構築促進事業のうち
国際資源の管理体制構築促進事業のうち操業管理・海外漁場情報活用事業
実績報告書

住所　東京都中央区豊海町4-5 豊海振興ﾋﾞﾙ6 階
国際資源操業管理・海外漁場情報活用事業
共同実施機関 代表機関
一般社団法人漁業情報サービスセンター
代表者　会長　和 田 時 夫

1　事業の実施状況

ア　調査項目及び調査対象

令和３年度国際資源の管理体制構築促進事業のうち操業管理・海外漁場情報活用事業仕様書に基づき事業を実施した。

イ　事業実施期間

令和３年４月１日～令和４年３月３１日

ウ　事業の成果（又はその概略）

Ａ　マグロ漁船ＶＭＳ運用・漁獲報告等関連事業

(a)　(一社)漁業情報サービスセンターは、代表機関として事業全体の調整・監督・指導を行った。

(b)　カツオ・マグロ漁業の操業秩序及び安全性の確保の観点から、独自に開発したカツオ・マグロＶＭＳシステム（Vessel monitoring system）を用いて漁船の位置等情報を24時間リアルタイムで収集し、航行・操業実態の把握及び安全情報の調査・情報収集を行った。また、システムの運用・管理を行った。

(c)　カツオ・マグロＶＭＳシステムによる漁船毎の位置情報の有無を確認し、その結果を報告状況日報として関係機関・関係者に自動配信した。報告に不具合が発生した場合または位置情報が突然途切れた場合は、その調査・原因究明およびVMSシステムの定期点検を行った。カツオ・マグロＶＭＳシステムから得られた漁船の位置情報を地域漁業管理機関へ指定された方法で報告した。

(d)　許可省令に基づく漁獲報告等の信頼性確保のため、マグロ類・カジキ類漁獲等データ入力・集計システムにより蓄積された日別報告等と、VMSデータとの整合性の調査及び管理を行った。

(e)　水産庁担当部局及び漁業団体の担当者と調整しながらスムーズにシステム運用されるよう、監督・指導を行った。

B　ＶＭＳシステム運用管理等関連業務

(a)　㈱キュービック・アイは、遠洋底曳網漁船だけでなくイカ釣り/さんま漁船を対象として、

・ＶＭＳ情報収集システムの運用

・地域漁業管理機関（NAFO/SEAFO/CCAMLR/NPFC）の定めるVMS情報の収集通報システムの運用

・水産庁のクライアントサポート

・漁業者への漁船位置情報提供システムの運用

・船舶データ入力及びシステム運用

・VMSシステムの更新作業と機能追加

・クラウドホスティング/サーバライセンス/システム保守を行った。

(b)　また、カツオ・マグロ漁船VMSシステムでは、VMSシステムの更新作業 と機能追加として、以下を実施した。

・24時間洋上VMS通報停止警報を漁業団体、各漁業者(会社)、各漁船に通知

・違反操業防止警報等を漁業者に加え、各漁船にも通知

・RFMOに係るEEZ等追加、RFMOでのVMS議論等に関する対応

・NPFCマニュアル通報メール処理の導入

(c)　水産庁、清水事務所、JAFIC間で運用しているVPNネットワークについて、その運用・保守を実施、また、VMSソフトウェア保守及び社外サーバの運用を実施した。